

潜入!! 工事現場

途ちゅアフター

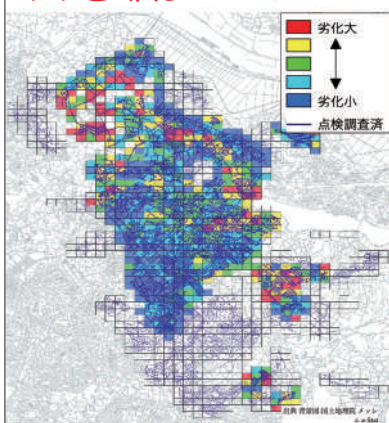
第12回 >>> 下水道劣化ハザードマップ



トチュー調査員

花や木々の芽が成長し
彩り豊かな景色になってきました。
そんな私たちの生活を緑の下で支える
地下の工事について調べてきたよ

下水道劣化ハザードマップ



令和4年9月時点 現在も調査継続中

市では下水道管の老朽化対策として、地面の中にある管の劣化度を色分けして地図に表した「劣化ハザードマップ」を作成しているところです。普段見えない下水道管の状態が見える化した、ありそうでなかったこのハザードマップは全国初の取り組みで、昨年、国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」を受賞しました!

先日の能登半島地震の被災地では断水などの影響も大きく、ライフラインの重要さを改めて実感するきっかけになりました。

復旧が長引いている原因の一つに、地下の老朽化した配管の損壊が多いため、壊れた場所の特定や修繕工事などに時間がかかることが挙げられています。そのため、日ごろから劣化が進んでいる管をチェックして修繕していくことが重要なようです。



こんなに大きい管もあるんだね

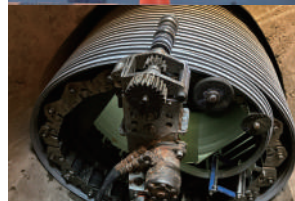
マップの作成では、まずひび割れや腐食などの異常がないかを点検するため、およそ30センチメートルの自走式カメラを管の中に入れて調査を行います。



自走式カメラ

ライトを照らして直接確認していく様子は、まるで胃カメラのよう。高精度のデータを得ることが可能だそうで、現在、全体の半分ほどの調査を終えています。

劣化した管の改築は、古くなった下水道管の中に新しい下水道管を造る「管更生工法」を主に採用しているとのこと。道路を掘らずに工事を行うことができるため、市民生活や通行車両への影響も少なく短期間での工事が可能だそうです。劣化が進んでいるものから順番に工事を行うなどして、下水道管が壊れるなどの事故をできるだけ未然に防げるように効率的で効果的な維持管理に努めています。



古くなった下水道管の内側に、細長い硬質塩化ビニル材をぐるぐると巻き付けて新しい管を造ります

今まで当たり前のようにトイレやお風呂の水を流していたけれど、大事な下水を守る取り組みを知ることができました。ご協力いただいた下水道工務課の皆さんありがとうございました!

トチュー調査員の もっと知りたい!

Q1 劣化ハザードマップはいつ完成するの?

A 令和10年に完成の見込みです。柏市と柏管路包括共同企業体が一体となり進めていて、民間企業の企画や技術提案が生かされているのが特徴です

Q2 改築で生まれ変わった管はどのくらいもつの?

A 設置の場所や環境にもよりますが、管更生工法を用いると管の寿命が50年延びるといわれています

【問い合わせ】 広報広聴課 ☎7167-1175